大仙市立西仙北中学校

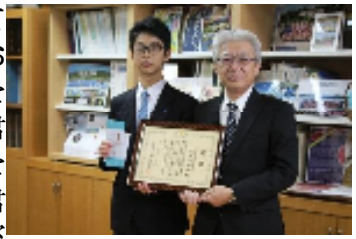
羽ばたこう 立志の丘から

平成２９年度　学校通信

平成２９年１２月１日

No.３０

「税の作文」入賞表彰



先に入賞を紹介していた「税の作文」において大曲税務署長賞を受賞した３年佐々木君と、大仙市長特別賞を受賞した１年佐藤君が、21日、本校校長室で、表彰されました。

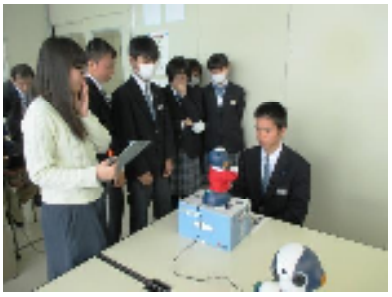
当日は、大曲税務署長中村様、大仙市総務部次長兼債権管理課長齋藤様が、来校の上、二人に賞状と記念品を渡してくれました。どちらの作文も税の使途やその重要性について考えた作文でした。入賞おめでとうございます。

2年生は上級学校訪問

９月には３日間の職場体験学習を行った２年生は、今回は、上級学校訪問を行いました。

上級学校見学を通して、自分の将来について考え、今後の進路選択の意識を高めること、来年度の修学旅行につながる活動として、自分たちで考え、協力して行動することを通して、学年の絆を深めるとともに、判断力と実践力を養うこと、社会生活で必要なマナーやルールを身に付けること、などを主なねらいとしています。

11月21日は、先週末からの雪で、寒さも厳しい日でしたが、２年生は秋田市に向かい、秋田公立美術大学、日本赤十字秋田看護大学、秋田県立大学、秋田コアビジネスカレッジ、秋田リハビリテーション学院と、それぞれの希望する上級学校を訪問しました。また、赤レンガ館や文学資料館、千秋公園、県立美術館、アトリオン、三吉神社など、それぞれのグループの自主研修も行われました。ねらいどおり進路について深く、かつ現実的に考えるとともに、社会生活に必要なマナーやルールを身に付ける機会にもなったようです。この経験を生かし、来年度の修学旅行もきっと充実した活動になることと期待しています。



２年生の皆さん、寒い中、お疲れさまでした。

「鴉　西仙　独演祭」

11月25日、西仙北中央公民館において、秋田市在住のロックグループ「鴉」の無料コンサートが行われました。

これは、鴉のメンバーが「戸嶋食堂」を通じて縁のあった西仙北地域が、この夏、大水害に遭ったことに心を痛め、「西仙北のために何かしたい」という発想で生まれたコンサートです。メンバーは、「ＦＭはなび」のエグゼクティブプロデューサー福原さんを通じて、西仙北支所地域活性化推進室と連携して、今回のコンサートを企画実行しました。その際、「地域と共に」を掲げ、地域活性化に貢献しようとしている中学生の存在を知り、本校生徒たちにも協力要請がありました。

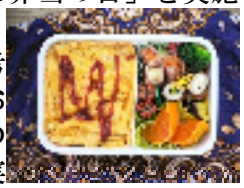
この要請に、生徒会新執行部を中心にボランティアを募り、この企画に協力した本校生徒たちです。当日は、鴉のコンサートに加え、本校生徒による「西仙ソーラン」の演舞、また、西仙北地域や大綱引きの紹介映像を発信しました。また、寒い中でしたが、道案内や会場整理、「影アナウンス」にも協力した生徒有志です。

会場には、鴉のファンや地域の方々が多数訪れ、企画を楽しむとともに、カンパ等にも応じていました。「少しは地域貢献ができたかな」という本校生徒たちでした。

なお、「鴉」のリーダー近野さんは、話してみると、激しい音楽とは、全く別人の寡黙でシャイな青年でした。温かくなったら大佐沢公園でひら鮒釣りをしているそうです。

お弁当の日

20日、今年度第２回目の「お弁当の日」を実施しました。



生徒が自分でメニューを考え、買い物や調理に挑戦する「お弁当作り」です。自立と感謝の気持ちが育つことを願っての実践です。生徒たちは、弁当作りそのものは慣れてきたようにも見えます。「いただきます！」（どのお弁当もおいそうです）「ごちそうさま！」

11･24「和食の日」

11月24日は、「いいにほんしょく」の語呂合わせで「和食の日」だそうです。「和食」は、日本の自然や歴史から生まれ、私たちが昔から受け継いできた食の文化で、栄養のバランスがよく、健康的な食事です。また、家庭や地域のお祭りで食事を共にすることで、絆を強くする役割も果たしてきたといわれます。世界的にも注目を浴びている「和食」です。

その「和食の日」にちなみ、大仙市の学校給食センターでは、和食の味の基本となる「だし」のうま味にこだわった給食を24日に提供してくれました。そのなかで、西部学校給食センター「わくわくランチ」では、昆布と鰹節と干し椎茸のだしによる「八杯豆腐汁」のメニューでした。秋サケのごまかおりあげ、野菜とひじきの煮びたしにごはんと牛乳、そして、天鷺プラムワインゼリーがデザートでした。

「だし」を味わいながら、当日もおいしい給食でした。ごちそうさまでした。

2年生　今年も詩を吟ずる

11月29日は、今年度も、国語で漢詩を勉強中の２年生が「刈柴吟詠会」の皆さんに教えていただきながら「詩吟」に挑戦しました。菅原会長さんを始め４名の会員の皆さんに学校にお出でいただき、２年生全員が、漢詩「春暁」「不識庵機山を打つの図に題す」、若山牧水の短歌「白鳥は～」、松尾芭蕉の俳句「花の雲～」を解説していただきながら吟じました。

生徒たちは、会員の皆さんの吟詠に感心するとともに、自らも吟じました。たいへん楽しそうな２年生の皆さんでした。

伝統文化の学び、地域の教育力を生かした学び、また、社会に開かれた教育課程は、新学習指導要領でも求められております。そうした意味でも本校にとって、たいへんありがたい「詩吟教室」の時間でした。会員の皆様、貴重な学習の時間を提供いただきありがとうございました。

指導主事学校訪問

30日、大仙市教育委員会の阿部指導主事の訪問があり、３年生の「総合的な学習の時間」を参観の上、ご指導を賜りました。また、当日は、地域の有識者の方々７名をゲストティーチャーとしてお招きして、助言をいただきました。

「総合的な学習の時間」は、生徒たちが、それこそ各教科等で身に付けた力を総合的に発揮して、自らの課題を解決していく探究的学習の時間です。３年生は、「地域活性化プロジェクト～ふるさとの未来のために提案します～」というテーマで学習を展開してきております。１年生の時のふるさと学習としての白神体験や大綱引きの歴史的背景、他地域の祭りとの比較などの学習、また、２年生のときの地元を中心とした３日間の職場体験学習や上級学校訪問などによる職業や将来の夢も踏まえた学習の総決算でもあります。各グループが地域活性化の案をプレゼンテーションして生徒同士で協議するとともに、西仙北支所長や大仙市商工会役員、学校評議員、にしせん未来塾長等のゲストティーチャーの方々から助言やご意見等を賜りました。将来にわたってふるさと西仙を誇りに思える学習になってくれることをねらいとしています。

阿部先生からは、生徒たちの目で見て聴く姿勢をたいへん褒めていただきました。また、教職員には、学習の目標設定や全体指導計画、育成すべき資質や能力等について、詳しくご指導を賜りました。本当にありがとうございました。